



平成 19 年 1 月 10 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 テ イ ツ ー
 代表者の役職名 代表取締役社長 大橋 康宏
 (J A S D A Q ・ コード 7 6 1 0)
 問い合わせ先 取締役 C F O 片山 靖浩
 電 話 番 号 0 3 - 5 4 0 8 - 5 1 0 0 (代 表)

平成 19 年 2 月期 12 月度の概況についてのお知らせ

平成 19 年 2 月期 12 月度の概況を、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 単体売上高速報

(百万円)

	3月	4月	5月	1Q	6月	7月	8月	2Q	上半期	
売上高	3,543	3,171	2,978	9,693	2,633	3,194	3,211	9,038	18,731	
対前年同月増減率	41.1%	35.6%	37.5%	38.1%	29.5%	19.1%	9.4%	18.1%	27.7%	
	9月	10月	11月	3Q	12月	1月	2月	4Q	下半期	年度累計
売上高	2,972	2,685	3,027	8,684	6,238					
対前年同月増減率(実質)	23.5%	18.0%	23.4%	21.7%	33.5%					
対前年同月増減率(名目)	18.5%	13.0%	18.9%	16.9%	30.8%					

- (注) ・ 平成 18 年 9 月 1 日に株式会社テイツーのアイ・カフェ事業部門を会社分割し、子会社の株式会社アイ・カフェに承継したため、平成 18 年 9 月以降の単体売上高にはアイ・カフェ事業部門の売上は入っておりません。
- ・ 対前年同月増減率(実質)は、比較対象としている前年の単体売上高には、9 月以降はアイ・カフェ事業部門の売上高を控除した数字を使用しております。
 - ・ 対前年同月増減率(名目)は、比較対象としている前年の単体売上高は、従来どおり 9 月以降もアイ・カフェ事業部門の売上高を含めた数字を使用しております。

2. 事業セグメント別 既存店売上高速報(対前年同月増減率)

	3月	4月	5月	1Q	6月	7月	8月	2Q	上半期	
古本市場事業	31.8%	25.9%	24.7%	27.7%	16.9%	13.9%	4.4%	11.2%	19.2%	
アイ・カフェ事業	7.2%	9.1%	-1.2%	5.2%	13.9%	4.8%	1.0%	5.8%	5.3%	
EC事業	11.2%	12.5%	10.3%	11.3%	-5.3%	6.1%	9.8%	3.0%	7.0%	
(EC売上)	16.9%	21.6%	18.4%	18.9%	9.5%	13.7%	12.0%	11.7%	15.2%	
(トナー売上)	-7.3%	2.8%	-7.3%	-4.1%	-29.5%	-29.6%	-11.0%	-24.0%	-14.6%	
(その他売上)	-41.4%	-69.8%	-52.7%	-57.4%	-84.9%	-5.1%	131.8%	-55.9%	-56.7%	
	9月	10月	11月	3Q	12月	1月	2月	4Q	下半期	年度累計
古本市場事業	17.5%	12.0%	17.3%	15.7%	29.4%					
アイ・カフェ事業	0.1%	-2.4%	1.4%	-0.4%	3.5%					
EC事業	-20.9%	3.7%	2.3%	-5.7%	14.2%					
(EC売上)	-22.2%	7.1%	9.5%	-3.3%	23.1%					
(トナー売上)	-14.2%	-14.8%	-32.3%	-21.0%	-13.0%					
(その他売上)	0.8%	25.9%	10.8%	11.7%	-41.1%					

- (注) ・ 事業セグメント別既存店売上高速報には連結対象子会社の売上高も含まれているため、上記 1. 単体売上高の対前年同月増減率とは連動いたしておりません。
- ・ アイ・カフェ事業は、連結対象子会社である(株)アイ・カフェの売上高の対前年同月増減率を記載しております。
 - ・ EC事業は、連結対象子会社である(株)ユーブックの売上高の対前年同月増減率を記載しております。
 - ・ 既存店は、開店後 13 ヶ月目からを既存店舗と定義しております。

3. 営業概況

12 月度は、「Wii」の発売などにより、新品ゲームの売上高が好調であったため、テイツー単体売上高は対前年同月増減率（実質）で 33.5%増の 6,238 百万円となりました。

古本市場事業の既存店売上高につきましては、12 月 2 日に発売された「Wii」の影響に加え、「PS3」や「ニンテンドーDS Lite」といったゲームハードの売上好調、「PS2 龍が如く 2」
「DS ドラゴンクエストモンスターズ ジョーカー」
「Wii スポーツ」といったゲームソフトの売上好調により、新品ゲームを中心とした売上が大きく拡大いたしました。こうした結果、古本市場事業の既存店売上高は対前年同月比 29.4%増となりました。

アイ・カフェ事業につきましては、全店舗において期間限定割引クーポンがもらえる「ウィンターキャンペーン」を実施したほか、一部の店舗においてはオンラインゲームサイトと共同で、ネットカフェでのプレイ時間に応じて魅力的なアイテムがもらえるという「アイテムゲットキャンペーン」を実施するなど販売促進活動を積極的に推進した結果、既存店売上高は対前年同月比 3.5%増となりました。

EC 事業につきましては、通常の販促活動に加え、200 人中一人に買取査定金額が 10 倍になる、「買取金額 10 倍キャンペーン」を実施するなど、買取に注力し商品力を強化した結果、売上高は対前年同月比 14.2%増となりました。

4. 出退店の状況

	06/11 末店舗数	出店数	退店数	06/12 末店舗数
古本市場事業	119	0	0	118
（古本市場直営店）	（86）	（0）	（0）	（86）
（古本市場業務提携・FC店）	（28）	（0）	（0）	（28）
（ブック・スクウェア）	（5）	（0）	（1）	（4）
アイ・カフェ事業	33	0	0	33
（直営店）	（16）	（0）	（0）	（16）
（FC店）	（17）	（0）	（0）	（17）
合計	152	0	1	151

（注）売上高は、公表日までのデータに基づいた速報ベースであり、修正される可能性があります。

また、監査法人による会計監査は受けておりません。